令和５年度(2023)

年 間 授 業 計 画

第三学年

教　科	科　目	ページ
国　語	現代文Ｂ	１
	古典Ａ	２
	古典Ｂ（古文）(漢文)	３－４
地理歴史	世界史Ｂ、必修選択世界史Ｂ	５－６
	日本史Ｂ	７
	地理Ｂ(文系)(理系)	８－９
公　民	政治・経済、倫理	10－11
	現代社会	12
数　学	数学Ⅰ（Ａ３）（Ｂ３）（Ｃ３）	13－15
	数学Ⅱ（Ｂ２）（Ｃ３）	16－17
	数学Ⅲ（Ｄ３）（Ｄ４）	18－19
理　科	物理基礎(必修選択)	20
	物理(自由選択)	21
	化学基礎(必修選択)	22
	化学、化学演習(自由選択)	23－24
	生物基礎(必修選択)	25
	生物	26
	地学基礎	27
体　育	体　育（男女）	28
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	29
	コミュニケーション英語Ⅲ	30
	英語表現Ⅱ	31
総　合	総合的な探究の時間	32

東 京 都 立 両 国 高 等 学 校

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	現代文Ｂ	２単位	対象学年	３　学年
教　科　書	精選現代文Ｂ　新訂版（大修館書店）		教　科　担　当　者	
副　教　材	「語彙力をつける入試漢字２６００」（筑摩書房） 「評論・小説を読むための新現代文単語　改訂版」（いいずな書店） 「新版六訂　カラー版新国語便覧」（第一学習社） 「ちくま評論選」（筑摩書房）			

目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し鑑賞する力を高め、作品の主題や現代の課題を見出し、人間や社会のあり方について考察する力を養い、自ら進路を切り開く。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	評論「『である』ことと『する』こと」 小説「待つ」 小説「舞姫」 評論「人を指す言葉」 評論「猫は後悔するか」	26	・筆者の主張、問題提起を通じて、今日的な課題について理解を深める。 ・心情表現や比喩表現に着目し、人物の言動の意味や心情を理解する。 ・文学の意義を理解して自分自身の読みを深め、鑑賞する力を高める。
二学期	評論「地球システムの中の人間」 評論「無常ということ」 評論「日本文化の三つの時間」 共通テスト過去問題演習	30	・文章の展開や表現を把握する。 ・的確に読解した上で自ら考えたことを、明確な文章として表現する。 ・初見の文章の読み方や解答の書き方を習得する。 ・過去に出題された共通テスト問題を解き、入試に対応できる力を養う。
三学期	共通テスト過去問題・対策問題演習		問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学試験に備える。

評価の観点	定期考査及びノート、課題、授業に取り組む姿勢等、総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	古典Ａ	２単位	対象学年	３　学年
教　科　書	筑摩書房「古典Ａ［古文・漢文］物語・史伝選」		教　科　担　当　者	
副　教　材	文英堂「読解のための必修古典文法　改訂版」 いいずな書店「つながる・まとまる古文単語 500PLUS」 桐原書店「読んで見て覚える古文攻略 76」 第一学習社「新版六訂カラー版新国語便覧」			

目標	読解・問題の演習を通して、重要語句や表現、文法の整理と定着を図り、内容理解を深めて、入試古文に対する基礎的・応用的な学力をつける。

学期	単　　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	「源氏物語」 くれまどふ心の闇 かかやく日の宮 廃院の怪 車争ひ 嵐の夜	26	・物語の場面や情景、人物の心情に着目しながら具体的にイメージすることができるようにし、長い文章を読解する力を養う。 ・当時の社会や価値観についての理解を深める。 ・敬語表現から主体や敬意の方向について確認することで、物語に登場する人物とその関係性を正確に捉えることができるようにする。
二学期	「源氏物語」 夢の心地 鶯の初音 花の蔭 罪の子 形見の文殻 大学入試過去問題演習	30	・「源氏物語」等の読解を通して、古語や古文の表現に慣れ親しむとともに、当時の文化や風習、人々の人生観などを理解する。 ・文章の読み方や解答のしかたを習得する。 ・過去に出題された大学入試問題を解き、入試に対応できる力を養う。
三学期	大学入試過去問題演習		問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学共通試験に備える。

評価の観点	定期考査及びノート、課題、授業に取り組む姿勢等、総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	古典Ｂ（古文）	２単位のうちの１単位分	対象学年	３　学年
教　科　書	筑摩書房「古典Ｂ　古文編　改訂版」		教　科　担　当　者	
副　教　材	文英堂「読解のための必修古典文法　改訂版」 いいずな書店「つながる・まとまる古文単語 500PLUS」 第一学習社「新版六訂カラー版新国語便覧」 尚文出版「古典共通テスト＋センター試験国語過去問題集」 第一学習社「新版四訂カラー版新国語便覧」 いいずな書店「読んで見て覚える古典攻略７６」			

目標	読解・問題の演習を通して、重要語句や表現、文法の整理と定着を図り、内容理解を深めて、入試古文に対する基礎的・応用的な学力をつける。

学期	単　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	古今著聞集 無名抄 正徹物語 去来抄 無名草子 紫式部日記 毎月抄	12	１・２年時で学習した古文読解上の基礎知識を確認しながら、問題演習で応用することで完全な定着を図る。 和歌の修辞法や解釈、文法の理解を深めながら、大学入試問題に対応できる読解力を養う。
二学期	大鏡 玉勝間 建礼門院右京大夫集 センター試験過去問題演習	14	様々なジャンルの古文や和歌を読み、文法事項を確認するとともに、難解な文章や問題に対応できる読解力を養う。 過去に出題されたセンター試験問題を解き、入試に対応できる力を養う。
三学期	センター試験過去問題・対策問題演習	3	問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学共通試験に備える。

評価の観点	定期考査及びノート、課題、授業に取り組む姿勢等、総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	古典Ｂ（漢文）	２単位のうちの１単位分	対象学年	３　学年
教　科　書	筑摩書房「古典Ｂ　漢文編　改訂版		教　科　担　当　者	
副　教　材	尚文出版「必携新明説漢文」 第一学習社「新版六訂カラー版新国語便覧」 古典共通テスト＋センター試験国語過去問題集　尚文出版			

目標	読解・問題の演習を通して、重要語句や表現、文法の整理と定着を図り、内容理解を深めて、入試古文に対する基礎的・応用的な学力をつける。

学期	単　　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	基本句形のまとめ 『韓非子』 『列子』 『文選』 『唐宋八家文読本』 『語孟字義』 漢詩（古体詩）	12	・既習知識の復習を図るとともに、さまざまな句法を理解する。 ・登場人物の生き方を整理し、心情・心理を読み取る。 ・漢詩の種類・修辞やその役割、様々な詩人についての理解を深める。
二学期	『史記』 『老子』『荘子』 思想 共通テスト過去問題演習	14	・諸子百家について学習し、体系的に把握することで、それぞれの思想の論理展開についての考察する力を養う。 ・中国の史伝の学習を通じて、中国の歴史や文化を理解し、日本文化に与えた影響について考える。 ・文章の読み方や解答のしかたを習得する。 ・過去に出題された共通テスト問題を解き、入試に対応できる力を養う。
三学期	共通テスト過去問題・対策問題演習		問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学共通テストに備える。

評価の観点	定期考査及びノート、課題、授業に取り組む姿勢等、総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史科　世界史Ｂ	５単位	対象学年	３　学年
教　科　書	東京書籍『世界史Ｂ』		教　科　担　当　者	
副　教　材	浜島書店『アカデミア世界史』 東京書籍『入試対策問題集』			

目標	世界の歴史の大きな枠組みを理解させ、文化の多様性と人類の課題を多角的に考察することによって、歴史的思考力を培う。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	1　さまざまな地域世界 ・文明以前の人類 ・オリエント世界と東地中海 ・地中海世界と西アジア・南アジア世界 ・東アジア世界・内陸ユーラシア世界 ・東南アジア世界・古アメリカ世界 2　結びあう地域世界 ・イスラーム世界の形成 ・ヨーロッパ世界の形成 ・東アジア世界の変容とモンゴル帝国 3　一体化する世界 ・海域世界の発展・ユーラシア諸帝国の繁栄 ・大交易時代 ・近世ヨーロッパ①	65	・人類が築いてきた諸文明とそれをもとに形成された大きな地域世界の形成過程について、問題演習を交えながら理解を深める。 ・宗教や文化の歴史的成立過程や影響を問題演習を通して、多角的に理解させる。 ・諸地域世界の交流が活発となり、新たな地域世界の形成や再編を促したことを演習を通して理解させる。
二学期	・近世のヨーロッパ② ・欧米における工業化と国民国家の形成 4．一体化の進展と世界の再編 ・産業資本主義の発展と帝国主義 ・アジア諸地域の変革運動 ・世界戦争の時代	75	・論述演習を行いながら、近代以降のヨーロッパがもたらした世界の構造化と社会の変容を多角的に考察し、俯瞰させる。 ・工業化したヨーロッパの主権国家の海外進出が、世界構造と社会の変容を促したことを多面的に理解させる。
三学期	・経済のグルーバル化と新たな地域秩序	35	・問題演習を通して、地球規模で一体化し、相互依存を強めた現代世界が抱える問題点を総合的に理解させる。

評価の観点	・定期考査・小テストの成績に平常点を加味して評価する。 ・平常点は課題等の提出状況や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史　必修選択世界史Ｂ	１単位	対象学年	３　学年
教　科　書	東京書籍『世界史Ｂ』		教　科　担　当　者	
副　教　材	浜島書店『アカデミア世界史』 東京書籍『入試対策問題集』			

目標	世界の歴史の大きな枠組みを、時代別に扱ったり、テーマ史、各国史などを取り上げることを通して多角的に考察させ、歴史的思考力を培う。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	・古代オリエントから第二次世界大戦　までの時代別通史 ・第二次世界大戦後の世界	13	・問題演習を通して、世界史の大きな流れを、同時代の横の繋がりを意識させながら理解させる。 ・演習問題や課題学習を通して、戦後史を多角的に理解させる。
二学期	・制度史 ・社会経済史 ・民族宗教史・建築物史 ・文化史	15	・テーマ別演習を通して、諸地域の特色や交流を比較文化的視点も考慮しながら扱い、多角的に世界の歴史を理解させる。 ・各時代における世界の中の日本の位置づけも考察させる
三学期	・各国史を含めた総復習	7	主に論述問題の演習を通して、総合的に世界史の理解を深める。

評価の観点	・授業内の小テストの成績に平常点を加味して評価する。 ・平常点は課題等の提出状況や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・日本史Ｂ	５単位	対象学年	３　学年
教　科　書	山川出版社　「詳説日本史」		教　科　担　当　者	
副　教　材	浜島書店　「新詳日本史」 山川出版社　「詳説日本史史料集　再訂版」			

目標	わが国の歴史の流れを、世界史的視野に立って考察させ、文化や伝統の特色について認識を深めさせる。そしてそのことを通して国民としての自覚と資質を養う。

学期	単　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	第１章　日本文化のあけぼの 第２章　律令国家の形成 第３章　貴族政治と国風文化 第４章　中世社会の成立	65	古代国家の成立と推移および文化の形成について、東アジア世界の動きとも関連付けて理解させる。
二学期	第５章　武家社会の成長 第６章　幕藩体制の確立 第７章　幕藩体制の展開 第８章　幕藩体制の動揺 第９章　近代国家の成立 １　開国と幕末の動乱 ２　明治維新と富国強兵	75	武家社会の成立・進展および幕藩体制の特色と推移、さらにこの時期の社会・文化の動向について、国際関係の変化に触れながら理解させる。
三学期	第９章　近代国家の成立 ３　立憲国家の成立と日清戦争	35	明治期の近代日本の歩みについて、アジアにおける国際環境と関連付けて考察させる。

評価の観点	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、小テスト・課題等の提出状況や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・地理Ｂ（文系）	３単位	対象学年	３　学年
教　科　書	帝国書院　「新詳地理Ｂ」 帝国書院　「新詳高等地図」		教　科　担　当　者	
副　教　材	帝国書院　「世界の諸地域ＮＯＷ２０２３」 二宮書店「データブックオブザワールド」			

目標	世界や日本の諸地域を、地理的視野に立って考察させ、地理的技能を用い、世界認識を深めさせる。そのことを通して国民としての自覚と資質を養い、我が国の国土の発展に努めようとする意識をもたせる。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等	学校で学習すること	家庭で学習すること（学習形態⇒確認方法）
一学期	第Ⅱ部 ４章　生活文化、民族・宗教 第Ⅲ部 １章　現代世界の地域区分 ２章　現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ	36	世界の諸地域の実態を現代世界の最新の動きに注意させ、理解させる。	生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、読図能力向上と、地形と気候から災害や環境と人間生活の関わりを学ばせる。	地図に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。 資料集別冊の白地図で各地形と気候の特徴と土地利用の関連を学習させる。
二学期	・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	48	世界の諸地域の実態を現代世界の最新の動きに注意させ、理解させる。	生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習を行い、世界の諸地域の人間の生活とその地域の環境や文化との関わりを学ばせる。	資源と産業、人間の暮らしに関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。 資料集別冊の白地図で世界各地域の特徴を学習させる。
三学期	３章 現代世界と日本	21	世界の諸地域や近隣諸国とわが国の関係を有機的に結びつけて、世界と日本の繋がりを理解させる。	生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、我が国の国土像を考えさせる	世界と日本に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図も学習させる。

評価の観点	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	地理歴史・地理Ｂ(理系)	２単位	対象学年	３　学年
教　科　書	帝国書院　「新詳地理Ｂ」 帝国書院　「新詳高等地図」		教　科　担　当　者	
副　教　材	帝国書院　「世界の諸地域ＮＯＷ２０２３」 二宮書店「データブックオブザワールド」			

目標	世界や日本の諸地域を、地理的視野に立って考察させ、地理的技能を用い、世界認識を深めさせる。そのことを通して国民としての自覚と資質を養い、我が国の国土の発展に努めようとする意識をもたせる。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等	学校で学習すること	家庭で学習すること（学習形態⇒確認方法）
一学期	第Ⅱ部 ４章　生活文化、民族・宗教 第Ⅲ部 １章　現代世界の地域区分 ２章　現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・ヨーロッパ	24	世界の諸地域の実態を現代世界の最新の動きに注意させ、理解させる。	生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、読図能力向上と、地形と気候から災害や環境と人間生活の関わりを学ばせる。	地図に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。 資料集別冊の白地図で各地形と気候の特徴と土地利用の関連を学習させる。
二学期	・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	32	世界の諸地域の実態を現代世界の最新の動きに注意させ、理解させる。	生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習を行い、世界の諸地域の人間の生活とその地域の環境や文化との関わりを学ばせる。	資源と産業、人間の暮らしに関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。 資料集別冊の白地図で世界各地域の特徴を学習させる。
三学期	３章 現代世界と日本	14	世界の諸地域や近隣諸国とわが国の関係を有機的に結びつけて、世界と日本の繋がりを理解させる。	生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、我が国の国土像を考えさせる	世界と日本に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図も学習させる。

評価の観点	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況･内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	公民　　政治・経済	３単位	対象学年	３学年
教　科　書	数研出版「政治・経済」		教　科　担　当　者	
副　教　材	とうほう「政治・経済資料集　2023」			

目標	広い視野に立って、政治・経済・国際社会について主体的に考察することのできる力を培い、民主的平和的な社会の有意な形成者としての必要な資質を養う。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
1学期	第１編　現代の政治 第１章　民主政治の基本原理 第２章　日本国憲法と民主主義 第３章　現代政治の現状と課題 第４章　国際政治と日本 第２編　現代の経済 第１章　経済社会の変容 第２章　現代経済のしくみ 第３章　国民経済と国際経済 第３編　現代社会の諸問題 第１章　現代日本の諸課題	39	・民主政治のしくみと役割を把握しながら、世界、日本の政治のしくみと動向について理解を深める。また、地方自治、政党、選挙、行政権の肥大化など国内政治の具体的事例にふれながら、諸課題や問題点を批判的に考察する態度を培う。 ・経済の変容、しくみ、事象の基礎事項を学習し、経済分野への関心を高める。 ・国際経済のしくみと動向について、国民経済との関連に留意しつつ理解を深める。 ・時事的な問題についての議論を中心とした授業を実施し、生徒相互の議論と認識を深め、また、主体的な授業参加の態度を養う。
2学期	第２章　国際社会の諸課題 〔まとめ〕 国内政治分野の総復習 国際政治分野の総復習 国内経済分野の総復習 国際経済分野の総復習	45	・戦後日本経済を概観し、現代日本経済や社会のかかえる諸問題について考察を深める。 ・新聞・インターネットなどのメディアをとおして得られる諸資料などを用いて、社会現象を客観的事実にもとづいて分析・批判する能力を養う ・国際社会が直面する地球規模的な諸問題や、グローバル化の功罪についてその実態と原因を考え、問題解決の方途を探る。 ・小テストによる問題演習
3学期	〔まとめ〕 共通テスト直前対策	14	・大学入試過去問演習 （問題および出題傾向分析と解答解説）

評価の観点	定期考査、小テスト、長期休業中の課題、平常点（授業態度・課題提出状況）などで総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	公民・倫理	3単位	対象学年	3学年
教　科　書	東京書籍「倫理」		教　科　担　当　者	
副　教　材	第一学習社 「テオーリア最新　倫理資料集」			

目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としてのあり方・生き方について理解・思索を深めさせるとともに、良識ある公民として必要な資質を養う。また、それと同時に、思想史を中心にセンター試験に対応した演習を行う。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	第2章 「人間としての自覚」 1　哲学と人間 2　宗教と人間 3　芸術と人間 第3章 「国際社会に生きる日本人の自覚」 1　日本人の精神風土	39	・ギリシャの思想 ・中国の思想 ・世界三大宗教 ・日本人のものの考え方、宗教観、倫理観
二学期	2　外来思想と日本の伝統思想 3　西洋思想と日本人の近代化 4　国際社会に生きる日本人の自覚 第4章 「現代を生きる人間の倫理」 第5章 「現代の課題を考える」 センター試験対応の演習	45	・仏教と日本人の思想形成 ・儒教の日本的展開 ・近代への啓蒙 ・近代的な自己の確立/創造的な思想 ・人間の尊厳 ・民主社会の倫理 ・新たな人間像の模索 ・自然や科学技術と人間の関わり
三学期	センター試験対応の演習	21	・大学入試過去問演習

評価の観点	・定期考査、レポート，小論文、平常点で評価する。 ・平常点には出欠・授業態度・課題提出状況などを含む。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	公民・現代社会	2単位	対象学年	3学年
教　科　書	実教出版「現代社会」		教　科　担　当　者	
副　教　材	第一学習社「テオーリア最新倫理資料集」 とうほう「政治・経済資料集2023」			

目標	
目標	現代の社会についての理解と人間を尊重する精神を追究するとともに，人間として自らのあり方，生き方についての自覚を深め、公民として有為な資質を養う。

学期	単　元		時間	指 導 内 容・留 意 点 等	
	倫理分野	政経分野		倫理分野	政経分野
一学期	第1章 「現代の社会生活と青年」 1 人間とは何か 2 青年期の特徴 第2章 「他社とともに生きる倫理」 1 ギリシアの思想	第3章 「現代の国家とと民主政治」 第4章 「日本国憲法と国民生活」 1 日本国憲法と平和主義 2 基本的人権の尊重	26	・ 大衆の時代 ・ 情報化の進展と生活 ・ 国際化の中の人間 ・ 少子,高齢化社会をむかえて ・ 技術革新と産業社会の変化 ・ 青年であること	・ 民主政治の原理 ・ 民主政治のしくみ ・ 世界のさまざまな政治体制 ・ 日本国憲法と三つの原理 ・ 基本的人権の保障と新しい人権 ・ 平和主義
二学期	2 宗教の教え 3 人間の尊厳 4 人間の自由 5 個人と社会 6 人間性の回復 7 人間への新たな問い	3 政治機構と国民生活 4 人権保障と裁判所 5 地方自治 6 選挙と政治参加 第5章「国際政治」 第6章「国内経済」 第7章「国際経済」	30	・ 社会とのつながり ・ 生きがいと進路の創造 ・ よく生きるということ ・ 近代科学の考え方 ・ 人間の尊厳 ・ 日本人のものの考え方 ・ 外来文化の受容と日本の伝統思想	・ 日本の政治機構 ・ 国会・内閣・裁判所 ・ 地方自治のしくみ ・ 選挙と政党 ・ 政治参加と世論 ・ 国際連合と平和維持 ・ 企業の働き ・ 市場経済のしくみ ・ 国民所得と経済成長 ・ 金融と財政 ・ 国民福祉と社会保障
三学期	8 よりよく生きることを求めて	第8章 「国際社会と人類の課題」	14	・ 現代社会に生きる私たち	・ 国際社会の課題

評価の観点	
評価の観点	・定期考査、小テスト、レポート，小論文、平常点で評価する。 ・平常点には出欠・授業態度・課題提出状況などを含む。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ⅰ（A３）	３ 単位	対象学年	３ 学年
教　科　書	数研出版「数学Ⅰ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版「ニュースタンダード 数学演習ⅠA＋ⅡB」			

目標	基礎的な知識を確立し、効率よく問題解法を行う技能を修得する。 特に、共通テスト問題の解決力を養う。

学期	単　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	発展的な学習内容 22．式の計算、二項定理 ～　27．因数定理、高次方程式 発展的な学習内容 26．点・直線・円　～　38．面積（2） 発展的な学習内容 39．ベクトル　～　44．漸化式，数列の応用		・各単元での必要事項、重要事項をまとめながら、問題演習の解説を行う。 ・生徒の知識・技能を伸ばすために、多くの問題を解かせることとする。
	1．式の計算　～　16．確率(1) 17．確率(2)　～　21．整数の性質	39	・理解の足りない部分は、基本に立ち返り復習をさせる。1学期は基礎固めに重点を置いて学習させる。
二学期	発展的な学習内容		・知っておくと問題解法に役立つ内容を織り込みながら、１・２年の授業で説明できない部分を補足する。
	発展的な学習内容 共通テストの過去問と予想問題	45	・実際に出題された過去問から、重要な問題や内容を中心に学習する。
三学期	発展的な学習内容 センター過去問	21	・直前演習として、最近の過去問を特集して行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ｉ（Ｂ３）	３ 単位	対象学年	３ 学年
教　科　書	数研出版「数学Ｉ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版 「四訂版　クリアー数学演習Ｉ・Ⅱ・A・B 受験編」			

目標	入試に対応できる学力を身につける

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ｉ・Ⅱ・A・B 受験編 ・配布プリント	39	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。
二学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ｉ・Ⅱ・A・B 受験編 ・大学入学共通テスト試験実戦演習	45	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して，実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。
三学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・大学入学共通テスト実戦演習	21	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ⅰ（Ｃ３）	３ 単位	対象学年	３ 学年
教　科　書	数研出版「数学Ⅰ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版 「四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編」			

目標	基本的な問題解決能力の習得と様々な数学的概念を活用する能力を伸ばす。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 ・配布プリント	39	・基本的な知識や公式の確認をして入試問題の基礎を学習する。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・１題の入試問題から一般化への拡張を試みる。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。
二学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 ・センター試験実戦演習	45	・１題の入試問題から一般化への拡張を試みる。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して，実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・センター試験の過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。
三学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・センター試験実戦演習	21	・センター試験の過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ⅱ（Ｂ２）	２ 単位	対象学年	３ 学年
教　科　書	数研出版「数学Ⅱ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版 「四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編」			

目標	入試に対応できる学力を身につける

学期	単　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 ・配布プリント	26	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。
二学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 ・大学入学共通テスト試験実戦演習	30	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して，実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。
三学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・大学入学共通テスト実戦演習	14	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ⅱ（C３）	３ 単位	対象学年	３ 学年
教　科　書	数研出版「数学Ⅱ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版 「四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編」			

目標	入試に対応できる学力を身につける

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 ・配布プリント	39	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。
二学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・四訂版　クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 ・大学入学共通テスト試験実戦演習	45	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して，実際の入学試験に近い形での演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。
三学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・大学入学共通テスト実戦演習	21	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ⅲ（Ｄ３）	３　単位	対象学年	３　学年
教　科　書	数研出版「数学Ⅲ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版　教科書傍用「4STEP 数学Ⅲ」 数研出版　四訂版 クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ　受験編			

目標	複素数平面と２次曲線、媒介変数表示と極座標に関する基礎的な知識の習得を図り，　それらを的確に適用できる能力を伸ばすとともに，発展的な問題の解決力を養う。

学期	単　　　元	時間	指　導　内　容・留　意　点　等
一学期	第１章　複素数平面 1．複素数平面 2．複素数の極形式と乗法，除法 3．ド・モアブルの定理 4．複素数と図形		･複素数の実数倍，加法，減法，乗法，除法，共役な複素数や絶対値の図形的意味を理解し，活用できる。 ･ド･モアブルの定理を利用して，複素数の n 乗根の定義と図形的意味を理解し，極形式を用いて n 乗根を求めることができる。 ･複素数平面上で図形を考え，方程式を満たす図形を求めることができたり，種々の図形の性質の複素数を利用した証明が理解できたりする。
	第２章　式と曲線 第１節 ２次曲線 第２節 媒介変数表示と極座標	39	･放物線，楕円，双曲線の方程式を理解し、２次曲線を解析幾何学的な方法で考察することができる。 ･種々の曲線のパラメータ表示を理解し，媒介変数で表された曲線がどのような曲線であるかを考察できる。 ･極方程式で表された曲線と直交座標に関する方程式とを互いに言い換えることができ、２次曲線の回転と複素数平面との関係を理解する。
二学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ　受験編 ・共通テスト実戦演習	45	・数学Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂの大学入試問題を通して，実際の入学試験問題に対応できる力を養う。 ・１クラス２展開による習熟度別授業により幅をもった難易度での演習を行う。 ・共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。
三学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・共通テスト実戦演習	21	・共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	数学Ⅲ（Ｄ４）	４　単位	対象学年	３　学年
教　科　書	数研出版「数学Ⅲ」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版　教科書傍用「4STEP 数学Ⅲ」 数研出版　四訂版クリアー数学演習Ⅲ受験編			

目標	扱う関数の範囲を広げ、極限と、数学Ⅱより程度の高い微分法・積分法及びその応用を学び、活用できる能力を養う。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	第５章　微分法 第６章　微分法の応用		・数学Ⅱで学んだ、整式での微分積分の考えについて，微分積分学の概念をさらに深化させて拡張していく。 ・１クラス２展開による習熟度別授業より，幅を持った難易度での演習を行う。
	第７章　積分法 第８章　積分法の応用	52	・微分積分学が科学的研究の多くの問題に対して有用な役割を果たしていることを深く学習する。 ・１クラス２展開による習熟度別授業より，幅を持たせた難易度での演習を行う。
二学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・クリアー数学演習Ⅲ　受験編 ・共通テスト実戦演習	60	・前年度の主な数学Ⅲの入試問題を抽出して，実際の入学試験問題に対応できる力を養う。 ・１クラス２展開による習熟度別授業より，幅を持った難易度での演習を行う。 ・過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。
三学期	入試問題演習（ 発展的学習 ） ・共通テスト実戦演習	28	・過去問や類題を利用して　時間内で解く実戦演習を行う。

評価の観点	・定期考査及び平常点で評価する。 ・平常点は、課題や小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・物理基礎　（必修選択）	１単位	対象学年	３　学年
教　科　書	数研出版「物理基礎」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版「リードα　物理基礎」 数研出版「フォトサイエンス物理図録」 プリント			

目標	センター試験にしっかりと対応できるようにする。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	電磁気学の解説 ◇運動の表し方 ・直線運動の速度 ・直線運動の加速度 ・落体の運動 ◇運動の法則 ・いろいろな力 ・力のつりあい ・運動の法則 ◇仕事と力学的エネルギー ・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存	13	演習を通して「物理基礎」全分野の復習を行う。 必要に応じて講習を実施する。
二学期	◇熱とエネルギー ・物質の三態・熱量 ◇波の性質 ・波と媒質の振動 ・波の伝わり方 ◇音 ・音の性質 ・発音体の振動と共振 ◇静電気と電流 ◇センター入試の過去問と予想問題	15	１学期と同様 本番を想定してセンターレベルの問題演習を行う。
三学期	◇センター入試の過去問と予想問題	7	２学期と同様

評価の観点	・提出物（問題集ノート），小テストで総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・物理（自由選択）	２単位	対象学年	３　学年
教　科　書	数研出版「物理」		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版 「2023 物理重要問題集 物理基礎・物理」 プリント			

目標	センター試験，国公立二次・私大試験にしっかりと対応できるようにする。

学期	単　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	電磁気学・原子分野の解説 等加速度運動 力とつりあい 運動の法則 抵抗力を受ける運動 運動量の保存 円運動・万有引力 単振動・単振り子	26	昨年度，授業で触れられなかった発展的内容の解説 必要に応じて小テストを実施
二学期	音波 光波 静電気力と電場 コンデンサー 直流回路 電流と磁場 電磁誘導 交流回路 電子と光 原子と原子核 総合問題 （センター試験対策）	30	１学期と同様 マーク問題対策
三学期	（二次試験対策）	14	新傾向問題の対策 大学別問題対策

評価の観点	・定期考査，提出物（問題集ノート），小テストで総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・化学基礎（必修選択）	１単位	対象学年	３　学年
教　科　書	東京書籍『改訂 化学基礎』		教　科　担　当　者	
副　教　材	実教出版『サイエンスビュー化学総合資料』 大学入学共通テスト対策『チェック＆演習化学基礎』			

目標	大学入学共通テストに対応できる高い学力を身に付ける。

学期	単　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	物質の構成と化学結合 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合	9	演習を通して、化学基礎の復習を行う。 ①　混合物と純物質 ②　物質とその成分 ③　物質の三態と熱運動 ④　原子の構造 ⑤　電子と電子配置 ⑥　イオン ⑦　周期表 ⑧　イオン結合とイオンからなる物質 ⑨　分子 ⑩　電気陰性度と極性 ⑪　共有結合の物質 ⑫　金属結合と金属 ⑬　物質の分類と性質
二学期	物質の変化 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化と還元 日常生活に関連した化学 化学実験の基礎 入試問題	16	⑭　原子の相対質量と原子量 ⑮　分子量・式量 ⑯　物質量 ⑰　溶液の濃度 ⑱　化学反応式と量的関係 ⑲　酸・塩基 ⑳　pH ㉑　酸と塩基の反応 ㉒　中和滴定 ㉓　酸化還元 ㉔　酸化剤還元剤 ㉕　金属の酸化還元反応 ㉖　イオン化傾向と金属の反応性 ㉗　電池 ㉘　日常生活に関連した化学 ㉙　化学実験の基礎 大学入試共通テスト対策演習を行う
三学期	入試問題	1	2 学期と同様

評価の観点	定期考査，宿題および平常点より総合的に評価する。 ・平常点は授業プリント，問題集ノート，課題等を評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・化学	６単位	対象学年	３　学年
教　科　書	東京書籍『改訂　化学』		教　科　担　当　者	
副　教　材	第一学習社『セミナー化学基礎・化学』 実教出版『四訂版サイエンスビュー 化学総合資料』			

目標	物質構造，性質・反応とその法則を学び，自然科学の一つとして，社会における化学の役割を学ぶ。

学期	単　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	・有機化合物 炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物 ・化学反応とエネルギー 反応熱，熱化学方程式， ヘスの法則，結合エネルギー ・気体の性質 ・溶液の性質 ・反応速度と平衡 溶解平衡 電離平衡 溶解度積	78	・有機化合物について理解する。 構造と分類，性質・反応の関連性を理解する。 ・発展として高分子化合物，生活・生命関連物質についても触れる。 ・有機化合物総合問題への習熟を目指す。 ・物質の構造と性質の関連を理解する。 ・特に燃焼熱に注目し，エネルギー資源とその利用に目を向けさせる。 ・量的問題の基礎計算に習熟する。 ・化学結合，三態，溶液では発展として結晶構造，気体法則他にも触れる。 ・反応速度，平衡定数の数値的取扱に精通する。 ・平衡状態の具体例を多く取り扱い，個々の物質に関する理解も深める。
二学期	・無機物質 非金属元素と周期表 金属元素 典型金属元素 遷移金属元素 陽イオン分離 ・高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活	90	・物質それぞれに関する学習では，酸化還元，反応速度など多面的に取り扱う。 ・物質それぞれに関する学習を通し，溶解平衡・電離平衡・化学平衡についても学ぶ。 ・金属元素について理解する。 ・周期表との関連について確認する ・金属の利用と分析に関する問題への精通を目指す。 ・高分子化合物の成り立ちと特徴を学ぶ。 ・衣食住あらゆる分野に化学物質がその特徴を生かして使われていることを知る。 ・生命関連物質とその働きについて学ぶ。 ・「化学」の視点を加味しながら，共通テスト対応問題で実力養成をはかる。
三学期	入試問題 大学入試共通テスト対策	42	・大学入試共通テスト、入試問題演習を行う。

評価の観点	・定期考査および実験への取り組み，実験報告書，平常点で評価する。 ・平常点は授業態度、問題集ノート、課題等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・化学演習（自由選択）	２単位	対象学年	３　学年
教　科　書	東京書籍『改訂化学』		教　科　担　当　者	
副　教　材	数研出版『2023化学重要問題集』 実教出版『四訂版　サイエンスビュー　化学総合資料』			

目標	実践的な問題演習を通して，大学入試に必要となる化学的な理解を深める。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	物質の構造 物質の変化とエネルギー 理論化学 有機化合物	２６	①　物質の構成粒子と化学の基礎法則 ②　化学量と化学反応式 ③　化学結合と物質の構造 ④　酸化･還元と電池･電解 ⑤　化学反応とエネルギー ⑥　物質の三態・気体の法則 ⑦　溶液の性質 ⑧　反応の速さと化学平衡 ⑨　酸と塩基の反応 ⑩　脂肪族化合物 ⑪　芳香族化合物
二学期	有機化合物 無機物質 高分子化合物 入試問題	３０	⑫　有機化合物の構造解析 ⑬　非金属玄曽 ⑭　金属元素 ⑮　無機物質の性質・反応 ⑯　天然高分子化合物 ⑰　合成高分子化合物 入試問題演習 共通テスト対策演習
三学期	入試問題	１４	入試問題演習 国公立･私大入試問題演習

評価の観点	定期考査，小テスト等を総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・生物基礎(必修選択)	１単位	対象学年	３　学年
教　科　書	東京書籍「改訂　生物基礎」		教　科　担　当　者	
副　教　材	第一学習社「スクエア最新図説生物 neo」 数研出版「チェック＆演習　生物基礎」			

目標	高校２年生で学習した「生物基礎」の内容をさらに深め、問題演習を通じて大学入学共通テストに対応できる解答力・応用力を養う。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	生物と遺伝子 ①生物の構造と機能 ②細胞とエネルギー・共生説 ③遺伝情報とＤＮＡ ④遺伝情報の分配、遺伝情報とタンパク質 生物の体内環境の維持 ①体液の恒常性	13	○問題集の問題をあらかじめ解いてから授業に臨むように指導し、授業では解説を中心に行う。 ○問題の解説だけでなく、その問題に関わる周辺知識も随時説明し、「生物基礎」に関わる全容に関して、つながりを持って理解させるよう努める。 ○解説しながらも、随時生徒に質問し、緊張感を持って授業に臨めるよう工夫する。 ○生徒自身にも解説させることで、曖昧な部分をなくし、記憶の定着をはかる。
二学期	生物の体内環境の維持(続き) ②自律神経系とホルモン ③免疫 生物の多様性と生態系 ①植生の多様性・バイオーム ②生態系 大学入学共通テスト 実践型問題演習	15	○基本的には１学期と同様に行う。 ○二学期後半には、大学入学共通テストと 同様の形式・時間配分で問題を解き、実践力を養う。
三学期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	7	問題演習

評価の観点	①生物基礎の内容に関して正しく理解できたか。 ②記憶するだけではなく、問題解答力を身につけることができたか。 ③論理的思考力が身につき、応用的な問題にも対応できる力が身についたか。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・生物	６単位	対象学年	３学年
教　科　書	東京書籍「改訂　生物」		教　科　担　当　者	
副　教　材	第一学習社「スクエア最新図説生物 neo」 第一学習社「2023 セミナー生物」			

目標	生物や生命現象についての理解を深め、実験を通じて、生物学的に探求する能力を養う。基本的な概念や法則の理解を図ることにより科学的な自然観を育てる。

学期	単　　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	生命現象と物質 ①生体物質と細胞②生命現象を支えるタンパク質③代謝とエネルギー 遺伝子のはたらき ①遺伝情報の発現②遺伝子の発現調節③バイオテクノロジー 生殖と発生 ①生物の生殖と配偶子の形成に動物の発生③動物の発生のしくみ④発生をつかさどる遺伝子⑤植物の発生	78	○生命現象を支える物質のはたらきについて観察・実験などを通して探求し、タンパク質などの物質のはたらきを理解させ、生命現象を分子レベルで捉えさせる。 ○DNAの複製のしくみ、遺伝子の発現やその調節のしくみ、遺伝情報の変化について理解させる。また、遺伝子を扱ったバイオテクノロジーの技術について、その原理と有用性を理解させる。 ○生物の生殖や発生について、観察・実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解させる。
二学期	生物の環境応答 ①動物の刺激の受容と反応②動物の行動③植物の環境応答 生態と環境 ①個体群と生物群集②生態系の物質生産エネルギーの流れ③生態系と生物多様性 生物の進化と系統 ①生命の起源と生物の変遷②進化のしくみ③生物の系統	90	○環境の変化に生物が反応していることについて観察・実験などを通して探求し、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応するしくみについて理解させる。 ○生物の個体群と群集及び生態系について観察・実験などを通して探求し、それらの構造や変化のしくみを理解させ、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識させる。 ○生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について観察などを通して探究し、生物界の多様性と系統を理解させ進化についての考え方を身につける。
三学期	**受験問題演習**	42	○問題演習によって応用力・記述力を養成し、解答力を鍛える。

評価の観点	①実験・観察を通し生物学に関して探究する技能を身につけることができたか。 ②受験に対応できる知識・学力を身につけることができたか。 ③論理的思考力が身につけることかできたか。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	理科・地学基礎	１単位	対象学年	３　学年
教　科　書	啓林館「地学基礎」改訂版		教　科　担　当　者	
副　教　材	浜島書店「ニューステージ地学図表」 実教出版「ビジュアルプラス 地学基礎ノート」			

目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。 特に，１年次の内容を復習して，観察・実験および問題演習によって理解を深める。

学期	単　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	宇宙の構成 太陽系と太陽 恒星としての太陽の進化 銀河系と宇宙大気と海洋 大気の構造 太陽放射と大気・海水の運動 日本で見られる季節の気象 (自然との共生)	13	太陽活動と太陽系 ○ 太陽－地球系の環境についてネット公開情報も扱う。 ○ 恒星の進化を扱い、ＨＲ図の理解をもとに宇宙の成り立ちを考えさせる。 ○ 宇宙の広がりをその観測の視点から扱う。大気の構造と熱収支 ○ 大気･海洋のエネルギー循環、大気大循環(について深め、環境問題の理解を深める。
二学期	移り変わる地球 地球史の読み方 地球と生命の進化 (自然との共生) 固体地球とその変動 地球の概観 地球の内部構造 地震波 地球の内部構造 プレートと地球の活動 地震と火山活動	15	火成岩 ○ 鉱物と火成岩の分類について復習する。 堆積岩・変成岩 ○ 地質構造と地史の組み立てを総合的に学ぶ。 ○ 基礎知識の融合を通して地学的な時空間スケールの理解を深める。 地球の形状 地震波を用いた地球内部構造 地球内部のエネルギー ○大学入学共通テスト問題を中心に１年次に深く学んだこの領域を復習する。
三学期	問題演習	7	○大学入学共通テスト問題を中心に演習する。

評価の観点	・定期考査と平常点で総合的に評価する。 ・平常点は、実験・実習報告書、授業プリント、ノート、課題等で評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	体　育（男女）	３単位	対象学年	第 3 学年
教　科　書	大修館書店　「最新高等保健体育」（改訂版）		教　科　担　当　者	
副　教　材	な　し			

目標	生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る。

<table>
<tr><th>学期</th><th colspan="2">単　　元</th><th>時間</th><th>指導内容・留意点等</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一学期</td><td>選択Ａ（2 単位）</td><td>選択Ｂ（1 単位）</td><td rowspan="2">39</td><td rowspan="6">◎各種目でｸﾞﾙｰﾌﾟを作り、ｸﾞﾙｰﾌﾟの中で練習課題を設定し、練習計画を立てて実践する。
ｹﾞｰﾑについても立案、計画し運営する。

◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないｸﾞﾙｰﾌﾟ作成をおこなう。

◎ｸﾞﾙｰﾌﾟの協力と安全な練習方法等を特に留意して指導する。

◎水泳
泳力の課題を体育科で設定し、それに対して各自が練習計画を立て実践する。</td></tr>
<tr><td>新体力テスト
ソフトボール
バレーボール
バドミントン
テニス
卓球</td><td>新体力テスト
サッカー
バスケットボール
テニス
卓球</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">水　　泳</td><td></td></tr>
<tr><td>二学期</td><td>種目は１学期に同じ
選択しなおす</td><td>種目は１学期に同じ</td><td>45</td></tr>
<tr><td rowspan="2">三学期</td><td>２学期の継続</td><td>同左</td><td rowspan="2">21</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

評価の観点	実技についてはスキルテストまたは授業観察で評価する。 また、出欠席･見学・授業ノートなど平常点も含め総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	コミュニケーション英語Ⅱ	２単位	対象学年	３学年
教　科　書	Front Runner 3 ［数研出版］		教　科　担　当　者	
副　教　材	なし			

目標	これまでの２年間の両国高での英語学習をもとに、大学入試における長文問題に取り組み Reading strategy(読解策略)の技術を培う。

学期	単　　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	Lesson 1 から Lesson 15 (奇数のみ) 私立上位大学等の入学試験問題	26	難関大学レベルの英文を読みこなし、設問形式にも慣れさせる。 Reading strategy に主眼をおいた指導を心がける。
二学期	Lesson 2 から Lesson 14 (偶数のみ), Essential Sentence Structures 私立上位大学等の入学試験問題	30	難関大学レベルの英文を読みこなし、設問形式にも慣れさせる。 Reading strategy に主眼をおいた指導を心がける。
三学期			

評価の観点	定期考査と小テストに平常点を加味して評価する。平常点は、授業に対する姿勢などを総合的に評価する。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	英語･コミュニケーション英語Ⅲ	４単位	対象学年	３学年
教　科　書	ELEMENT English CommunicationⅢ		教　科　担　当　者	
副　教　材	ELEMENT English Communication Ⅲ[啓林館] 予習ノート[啓林館] (S1) NEO 現代を探る Advanced [いいずな書店] (S2) 2023 大学入学共通テスト(英語リーディング)対策 Reach 40[美誠社] 2023 大学入学共通テスト(英語リスニング)対策 Reach 30[美誠社]			

目標	聞く ①教師や生徒の話す英語を理解し行動できる。②教科書の内容を英語で聞き、内容を理解できる。読む ③教科書の内容を読んで、必要な情報を得ることができる 話す ④教科書の内容を絵を使って話すことができる。⑤教科書の内容について自分の考えを話すことができる　書く ⑥教科書の内容の要約を書くことができる⑦教科書の内容についての自分の考えを書くことができる。

学期	単　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 1～4 NEO 現代を探る UNIT 1 - 8 大学入学共通テスト 第１回 A～第３回Ｂ	44	〈戦争〉〈言語〉〈環境〉についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。
二学期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 5～9 NEO 現代を探る UNIT 9 - 19 大学入学共通テスト 第４回 A～第５回Ｂ	52	〈心理〉〈人間愛〉〈芸術〉〈経済〉についての英文を使い、４技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。
三学期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 10 NEO 現代を探る UNIT 20 大学入試問題	14	〈科学〉〈生物・生き方〉〈心理〉についての英文を使い、４技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。

評価の観点	関心・意欲：①授業への取り組み　②提出物　③朝学習 表現：④OP（教科書の内容を要約し英語で話すことができる） 理解：⑤教師の英語の指示を理解し、授業を進めることができる。 ⑥英検２級～準１級レベルの英文を読んで必要な情報を得ることができる。 知識：⑦教科書に出てくる語彙、文法、表現を理解している。

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	英語表現Ⅱ	２単位	対象学年	３学年
教　科　書	Empower English ExpressionⅡ		教　科　担　当　者	
副　教　材	(W)入試必携英作文 Write to the Point [数研出版] (G)Bright Stage [英文法・語法問題(桐原書店] Bright Stage Training Book [桐原書店] 英語の構文 150［美誠社］ 英語の構文 150 標準問題演習［美誠社］			

目標	① 英語で表現する際の英文法のルールを身に付け、使いこなすことができる。 ② 日本語の内容を平易な語彙、語法を用い自然な英語で表現できる。

学期	単　　元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等
一学期	Writing　Write to the Point 1～ 9 Bright Stage Training Book 第 1 章から 12 章 英語の構文 150 標準問題演習 Unit1～Unit8	26	〈主語の決定〉、〈目的・理由の表現〉、〈時制〉、〈動詞の語法〉、〈関係詞〉、〈時間の表現〉等の項目を中心に、与えられた日本語を自然な英語に直して表現する。 ランダム配列の問題を解く事で英文法･語法の総仕上げを行う。
二学期	Writing　Write to the Point 10～18 Bright Stage Training Book 第 13 章から 26 章 英語の構文 150 標準問題演習 Unit9～Unit16	30	〈数字の表現〉、〈仮定・条件〉、〈比較〉、〈譲歩〉、〈重要表現〉〈A は…だ〉等の項目を中心に、与えられた日本語を自然な英語に直して表現する。 ランダム配列の問題を解く事で英文法･語法の総仕上げを行う。
三学期			

評価の観点	①授業への取り組み　②提出物　③定期考査

令和５年度　年間授業計画

東京都立両国高等学校

教科・科目	総合・生命の神秘に迫る	１単位	対象学年	３　学年
教　科　書			教　科　担　当　者	
副　教　材	第一学習社「スクエア最新図説生物 neo」			

目標	生徒自身が興味関心をもつ分野について，多面的な学習・研究を行うことにより生物学的な見方・考え方の深化を図り、生命の神秘について考える。

学期	単　　元	時間	指導内容・留意点等
一学期	・ガイダンス ・生物と遺伝子 ・生物の体内環境の維持 ・１学期まとめ	13	・初回はガイダンスを行う。 ・２、３回目は個人で扱う問題を研究する。 ・４回目以降の授業では、生徒の当番が順番に担当する。 ・各分野の最後の回では、生徒が自分の問題についてのまとめの時間とする。 ・すべての生命現象の基本となる遺伝子の発現を扱うことで、生物的な見方・考え　方の深化と総合化を図る。 ・１学期の最後の１時間は、１学期全体のまとめの時間とする。
二学期	・生物の体内環境の維持(続き) ・生物の多様性と生態系 ・２学期まとめ	15	・基本的には１学期と同様の方法で行う。 ・人間の健康維持に関わる体内環境の恒常性を扱うことで、生涯にわたって健康的に生活するための基礎知識と考え方を身につける。 ・地球にすむ生物や環境に関するテーマを扱うことで、今後の地球環境保全に対する幅広い知識と考え方を身につける。 ・２学期の最後の１時間は、２学期全体のまとめの時間とする。
三学期	・生物の多様性と生態系(続き) ・学年まとめ	7	・基本的には１学期と同様の方法で行う。 ・最後の時間は、学年全体を通してのまとめの時間とする。

評価の観点	①生命現象について興味を持ち、積極的に探究しようとしていたか。 ②ヒトの健康や地球環境に関して、基本的な考え方が身についたか。